



日野ムツ子さん(会員)の作品

**お正月はいかがお過ごしでしたでしょうか。会報「水仙」発行が50号になりました！**

黄色い口ウ梅の花が、青い寒空にかわいく咲いています。その下に、今年は寒いのか、水仙がやっと花を咲かせました。会報「水仙」の発行が今回でNo.50号になり、家族の会直方の歴史を28年間刻んできました。初回発行は1993年(平成5年)7月で、当会直方設立の翌月からです。

当会直方は家族の会福岡県支部会員が直方市への転居をきっかけに設立。それ以来、28年間、県支部や当会直方の皆さまにはご支援をいただき感謝申し上げます。また、県支部設立40周年にあたり、記念号 会報「たんぽぽ」に「40周年おめでとう！」の一言メッセージを贈りました。

また、感染拡大が続いているコロナ禍。10～12月のつかの間の休息期間に、久々に、若年性認知症セミナー①②と男性介護者のつどい21・22回を開催することができました。「うれしかった、良かった！」という思いで、いっぱいでした。今年は念願の「認知症カフェ」を2月から始めますので、多くの方のご参加・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

寒い日が続いています。皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。代表 宗廣 壽美子

目 次

- |                             |      |
|-----------------------------|------|
| ・ 祝 福岡県支部 40周年・地域福祉セミナー①    | 2P   |
| ・ 地域福祉セミナー②                 | 3P   |
| ・ 認知症について — 輪田先生のひとこと—      | 4P   |
| ・ 事業所紹介                     | 5P   |
| ・ みんなの広場 ～皆さまの交流の場です～       | 6～9P |
| ・ 行事のお知らせ(地域福祉セミナー③ 他)      | 10P  |
| ・ 感想文(ローズマリー訪問・身体拘束ゼロ施設見学会) | 11P  |
| ・ 認知症相談日・認知症カフェを始めます        | 12P  |

## ● 認知症の人と家族の会福岡県支部40周年おめでとう！

貴支部会員が直方市への転居を機に、1993年家族の会直方を設立しました。それ以来、28年間ご支援いただきましたことに感謝申し上げます。

特に男性介護者や若年性認知症のつどいなどの立ち上げの際、毎回足を運んでいただきました。当事者・家族にとって、家族の会の存在はとても心強いです。

認知症になっても住み慣れた地域で共に生きる地域づくりをしたいと思いますので、今後ともよろしく願います。貴支部の更なるご発展をお祈り申し上げます。

(福岡県や他団体とともに、

お祝いの「一言メッセージ」を贈りました。)

認知症の人と家族の会直方

代表 宗廣 壽美子



## ● 地域福祉セミナー① 主催：直方市社会福祉協議会 共催：家族の会

### 若年性認知症の基礎理解と支援

～妻の介護体験を通して～

講師 ローズマリー 会長 岡山 和行 さん  
パーソン・サポート絆 代表 川島 豊輝 さん

10月2日(土)、直方市中央公民館にて若年性認知症についてのセミナー①を開催しました。最初に、川島さんが認知症の基礎理解について話され、支援については「私たちは、どう関わるべきか？」を事例を通して、間違っただけの接し方や正しい接し方などを分かりやすく教えていただきました。

若年性認知症の方やその家族が気軽に集い、安心して語り合う場「若年性認知症介護者の会 ローズマリー」。会長の岡山さんは奥様の介護をしながら、自分の趣味を続け、笑顔で生活しておられるお姿。岡山さんのご努力とそっと包み込むような温かい川島さんのサポート、一人ではないローズマリーの会の皆さまの存在があるからでしょう！とても参考になるお話をありがとうございました。





## ● 福岡県支部会報「たんぽぽ」への寄稿文です！

令和3年度 直方市社会福祉協議会 地域福祉セミナー②

### 今を大切に生きる 若年性認知症 ～出会いに感謝 楽しい仲間～

講師 中村益子さん（福岡県認知症介護指導者・「さろ～んパス」の会代表）

若年性認知症当事者と家族（「さろ～んパス」の会会員）

12月4日、「ユメニティのおがた」にて若年性認知症についてのセミナー②を、直方市社会福祉協議会と認知症の人と家族の会直方の共催で開催しました。コロナ禍で比較的若い方の発症が目立つようになり、少しでも現状維持をしていただき、何でも話せる場、温かい仲間と一緒に過ごせる場を作りたい。すると、日常生活においても安心感が漂ってくるのでは…という思いで企画をしました。参加者は76名で、多くの当事者や家族の参加もあり、会場が熱気にあふれていました。

#### ☞出会いに感謝 楽しい仲間とともに

講師 中村益子さんに「さろ～んパス」の会・「さろ～んちくし野」の活動などについてお話をいただきました。「若年性認知症の当事者交流会でまた会いたい！」の言葉に、さろ～んパスを始めました。ここは当事者と家族の居場所であって、支援者は黒子で関わることが大切。当事者・家族・支援者の思いや、かわり方を含めてみんなで作るサロンです。」

また、家族が「診断直後が辛かった。こんな場がほしかった。同じ立場の人に出会い、繋がる大切さを改めて感じている。今を大切に生きる！一日を大切に生きる！」と言われていきますと紹介されました。

#### ☞当事者と家族の話に感動と涙！

男性当事者の上田さんが壇上で急に起立され「ここで一言言わせてください。今、何もできなくなった自分に対して、人として自分に接してくれる妻と娘に感謝しています。」

また、最後に「今は何もできないけれど、きっと自分にできることがあると思うから、何かできるようになって、妻と娘に恩返しをしたい。」と結ばれました。参加者は感動といろんな思いで涙、涙でした。

男性介護者三角さんは当事者の奥様と一緒に



に登壇して貴重な介護のお話をされました。勇気をいただきました。とても温かい夫婦愛を感じました。

#### ☞ありがとうございました

中村益子さん、上田さん、三角さんご夫婦の「さろ～んパス」での信頼関係や繋がり素晴らしさを感じました。貴重なお話をいただき、本当に多くのことを学ばせていただきました。直方でも「さろ～ん」を始めますので、よろしくお祈りします。

★セミナー参加者の貴重な心温まる感想は認知症の人と家族の会直方会報「水仙」1月号の〈みんなの広場〉に掲載しています。

**検索** 直方市公式ホームページゆかりネット  
⇒ボランティア団体の紹介 ⇒ 高齢者…⇒  
認知症の人と家族の会直方

2022年1月発行

寄稿：認知症の人と家族の会直方  
代表 宗廣 壽美子



# 認知症について—輪田先生のひとこと—

No.9

## 認知症の人と家族のための意思決定支援をどうするか？

認知症の人が、医療行為（予防接種、検査、治療、胃ろう増設、人工呼吸器、血液透析など）を受ける場合、本人の同意、家族の同意をどう考えるか悩ましい事例に遭遇することが増えています。このような場合、認知症の人の同意能力をどう評価するかが問題となります。認知症の人でも意思があり、本人の意思決定が尊重されなければなりません。したがって、医療行為を決める場合には、まず本人の意思を確認することが重要です。家族のみの同意が必ずしも法的に有効ではありません。では、同意能力があるか否かの評価はどうしたらよいのでしょうか？医療行為の同意には①理解（説明された内容を自分の言葉で説明できる）、②認識（自分のこととして認識している）、③論理的思考（選択肢を論理的に比較できる）、④選択の表明（何らかの方法で自分の選択を表明できる）の4要素が必要とされています。4要素について、本人、家族、医療チームを含めた支援チームで評価しなければなりません。ただ、認知症の人の重症度も考慮しながら評価を進めていく必要があります。軽症の場合は本人から有効な同意が得られる場合がありますので、本人に説明することから始めるのが大切です。中等度から重度の認知症の場合ははっきりした同意が得られない場合も多くなりますので、本人の表情や動作、事前指示の有無、家族や関係者からの情報に基づいて総合的に推定し、可能な限り本人の意向に沿った医療行為が選択できるようにします。

同意能力の簡便判断方法として次のような方法も考慮してよいでしょう。1. 本人がなんでも「はい」、「はい」と答える場合、肯定文と否定文の両方で確認してみる。たとえば、「手術をうけますか？」⇒「はい」、「手術をやめますか？」⇒「いいえ」は

理解した上で同意していると可能性が高いとみなし、ともに「いいえ」で答えた場合は理解ができていない可能性が高いとみなす。2. 説明をすぐ忘れて同じ質問を繰り返す場合は、何度確認しても同じ選択をする場合は同意している可能性が高いが、選択が二転三転する場合は理解が不十分の可能性が高いとみなす。3. 治療を拒否する場合はメリットとリスクをどの程度理解しているかを評価し、理解が不十分であれば認知症になる前の本人の意思や選択を家族や介護関係者から情報を得るが、十分な情報が得られない場合は、本人を保護する視点を重視する。認知症があっても可能な限り本人の意思決定を尊重することが重要です。

(2021/11/19 記)

認知症の人と家族の会直方顧問医  
輪田 順一



## ● 事業所紹介

### グループホーム みのりの郷

平成 16 年 3 月にオープンした津田町にあるグループホームです。

JR 直方駅から徒歩 6～7 分という立地で病院や商店街に近い住宅街にあります。

『認知症になっても安心』とっていただける施設を目指し、スタッフ一同研鑽し業務にあたっており、60 歳代から 90 歳代までの入居者さまを 30 歳代から 60 歳代の幅広い年代のスタッフが支援させていただきます。栄養士のたてた献立をスタッフが調理し、可能な限りおやつも手作りしております。介護福祉士の資格をもつスタッフが 5 名在籍し、主治医等との医療連携を行い、安心して生活できる体制を取っております。

住所：〒822-0026 直方市津田町 5-25

電話：0949-29-7671

ホームページ：<http://minorinosato.co.jp>



### 晴弘(せいこう)訪問介護ステーション

住み慣れたわが家で、独居でも同居家族がいても、訪問看護師によるいろいろなサービスが受けられます。私たち看護師が365日24時間お手伝いさせていただきます。(介護保険・医療保険適応です)主治医やケアマネ各事業所との連携をとりながらサポートさせていただきます。

【サービス内容】

血圧やお薬の管理、自宅でのリハビリ、

又は病気に対して精神的な不安がある方の話の傾聴(相談)など

良いスタッフが集まっていますので、毎日がとても楽しみです。訪問看護先のお宅でも皆様とかわりながら、やりがいを感じ安心感をもっていただいています。

住所：直方市大字中泉957-56

電話：0949-29-1747

FAX：0949-29-3270

携帯：090-4480-4253



## ●みんなの広場

\*若年性認知症についての地域福祉セミナー①②のアンケートの中で、皆さまから貴重な心温まる感想をいただきましたので、紹介します。

### ★若年性認知症セミナー① 10月2日(土)開催 「若年認知症の基礎理解と支援 ～妻の介護体験を通して～」

☆貴重なご家族の体験談(岡山様)ありがとうございました。家族介護が苦しい中、岡山様の前向きな気持ち。楽しみながら笑顔で、自分の好きなことをなさっていて尊敬しました。生きている間は私が世話をしていく!という言葉に感動しました。

☆久しぶりに参加して話を聞いて、何かスッキリしました。マンネリ化していた毎日で久しぶりに変化に富んだ一日でした。認知症の主人にイライラを感じることもあり、少し反省しています。本人に「何をするか自分で決める」←「自己決定支援」をするように、一緒にしていきたいと思います。目からうろこの心境になりました。主人も参加して嬉しそうでした。

☆医療職として認知症の方と接することが多いですが、「なぜ認知症になりたくないのか?」という問いかけは、深く考えさせられました。「自立支援」と「自力支援」の違い、QOLの質についてしっかりと考えながら認知症の方に関わっていきたいと思いました。多くの刺激をありがとうございました。

☆暗くなりがちな認知症の話を、分かりやすく、笑いを加えて話をしていただきよかったです。岡山さんの奥様の介護もされて、大変なようですが、頑張っている様子ですが、ご自分も楽しみながら生活されている様子でホッとしました。

☆生きている間は笑ってすごす。認知症になっても、当たり前生活を続ける。自分が認知症になったらそんな風に過ごせたら幸せだろうなと思いました。

☆認知症の概略を知ることができました。介護する者の姿勢を聞くことができ有意義でした。

☆自分で決めることが大事と聞いて、していこうと思いました。教えてもらいよかったです。勉強になりました。介護者の岡山さんの話、とてもよかったです。

☆自宅介護が大変でありながら、自宅介護をずっと続けて妻を支えられている方の体験談、大変勉強になりました。

☆介護者の岡山氏のリアルな話を聞いて、そういうことになるのだという心づもりをもって、そんなときはどう対処するべきなのか考えました。相談等して、いろいろな方に智慧をいただこうと思います。自分の時間ももって、心が折れないようにしたいです。

☆私もアルツハイマー型認知症の母を自宅で介護しています。セミナー内容に共感しながら参加できました。

☆分かりやすくお話をしていただき、ありがとうございました。



❖家族の話聞いてよかったです。川島さんと岡山さんのディスカッションで、岡山さんの話を具体的かつ整理して聞くことができました。

❖笑いを交えての講演で、認知症についても分かりやすかったです。体験談も生活の状況が理解できました。介護をしながら、自分の趣味を続け、生きている間は楽しく笑顔で生活したい、素晴らしい考えだと思います。

❖認知症、いずれ行く道。基礎理解として不安を解消できたらと思い参加しました。

❖体験談を聞かせてもらって、とても参考になりました。

❖古い介護現場から、今のケアの仕方へと個別の支援が進んでいると思いました。

❖身の回りに居ないので、経験談をきいて大変だと思いました。

❖今後も本人や家族のつどいや交流会を開催してほしいです。

❖とてもよい研修会に参加させていただきました。仕事として認知症の方々と接しておりますが、今日学んだことは今後大いに生かしていくことができると感じました。目からウロコが落ちた部分もあり、まだまだ勉強不足を痛感させていただきました。本当にありがとうございました。

❖岡山さんの体験談を聞いていろいろ勉強になりました。笑顔で楽しんで過ごしていこうと思いました。

❖男性の方が介護されているのを聞かせていただき、本当に大変な中で、笑顔で対応されているとのこと。どうぞ、お体を大切にされて、日々をお過ごしくださいませ。



**★ 若年性認知症セミナー② 12月4日(土)開催  
「今を大切に生きる 若年性認知症～出会いに感謝・楽しい仲間～」**

❖体験を通してのお話で、話に引き込まれました。三角さん夫婦の話は、私たちが今から体験するだろうことのお手本となり、実体験を話してくださって感謝します。貴重なお話でした。「さろ～んパス」のような会が広まっていくといいですね。他人事ではないと思います。

❖居場所を作ることは大変いいことだと思います。当事者の家族としてはまだまだ元気なので、普通の方々の中で何かできないかと思ったりしましたが無理な様なので、このような場所で元気にできることがあればと思います。

❖支援者の中村益子さんを信頼して、ご家族・ご本人が集う「さろ～んパス」。北九州も中村さんのご指導を受けながら、ご本人の集いを発足しました。今日は感動と感謝でした。ありがとうございました。

❖当事者の話を聞いて本当に良かったです。介護者が元気であることが一番であるとの話で「なるほど」と思いました。

❖本人同士、家族同士での話し合いの大切さを改めて学びました。ありがとうございました。

❖ お話がわかりやすかったです。参加者の状況に合わせてゆっくりとお話しされた姿は勉強になりました。セミナーの開催から運営等、色々のご苦労様でした。

❖ 私はもう介護は終わりましたが、「こんな会に出会えていたらもっとよかったな」と思います。とても身近に介護をしている人がいるので、一緒に参加したいと思います。

❖ 始めから終わりまで、中村さんの飾らない話ぶりがとても新鮮でわかりやすかったです。三角さんも上田さんも普段通りのご様子を伺えて、とても心を打たれました。すべてに感謝の心で私も過ごしていきたいと思います。

❖ ケアマネとして、本当に多くの事を学ばせていただいた素晴らしいセミナーでした。たくさん涙も出ました。素敵な時間をありがとうございました。

❖ 当事者の生の声が聞けて良かった。

❖ 当事者・家族からの想いやお話を聞けて良かった。「さろ〜んパス」の活動は当事者・家族・支援者が一つのことに取り組み、助け合い、想い合う活動で、いいなあ…と思いました。

❖ 本人様や家族様の声を直接聞くことができる良い機会をいただき、ありがとうございました。当事者も何も感じていないわけではなく、本当に感受性が高いのだと思いました。

❖ 大変見どころのあるセミナーありがとうございました。現在75歳ですが、まだ仕事をしています。もう少し頑張ろうと思っています。寄り添い、お話しし、笑顔で接するよう、今以上に心ある介護をしていきます。

❖ 良い人たちに恵まれて、幸せな方たちでよかったな〜と思いますが、悲惨な状況の方たちを存じているだけに何とも言えないです。

❖ ご主人の奥様への深い愛情をひしひしと感じました。奥様はご主人の温かい愛情に感謝していらっしゃると思います。これから、日々笑顔が増えることを期待しています。私も近頃もの忘れが増えてきましたので、心して生活します。夫に感謝しながら…。

❖ 会のネーミングがいいと思いました。地域に必要な場所だと思います。

❖ 三角さんの介護者としてのリフレッシュ方法、上手に自分と付き合っている事に感銘を受けました。私は最初から「さろ〜んパス」に携わっていますが、三角さん、上田さんがだんだん元気になってこられる姿を見て、嬉しく思っています。そして今日、いつも静かな上田さんが家族への感謝の気持ちを皆様の前で話されたことに、「さろ〜んパス」で出会って、本当の気持ちが引き出される素晴らしい場所だと改めて思いました。「さろ〜んパス」は違った形の家族の様に思います。

❖ 当事者の方や家族の言葉を聞けて良かったです。三角さんが奥さんのことを思っておられることが伝わり、また、自分も気分転換を図り、長い介護生活頑張ってもらいたいと思います。

❖ 話を聞いて感動しました。涙が出ました。頑張っているんだな、としみじみ思いました。よかったです。





- ❖三角さん、上田さんのお話、感動しました。私達も80歳を過ぎた老夫婦。どちらが先にどうなるかわかりません。相手のことを認め、お二人の様になればと思いました。
- ❖ご主人が奥様の介護をされているお話を聞かせていただき、ほほえましく感じるとともに、大変でしょうが楽しく乗り越えられていらっしゃることに感動しました。
- ❖何ができるかでなく、一緒に居る事。何もなくても、手のひらやふれあいが一番ですね。
- ❖中村さんの温かい人柄が伝わる会でした。登壇されている当事者の方のお話も、とても前向きで、自分の立場を理解し、まわりの方々への感謝を常に表しながら、暮らしておられることに感動しました。
- ❖認知症本人の気持ちと家族の気持ちを今日は聞いて、患者になっても感謝の気持ちがあるということ、言葉に表せなくても笑顔や表現で感謝されることが分かって、本当に良かった。介護する立場になった時、このことが分かっているだけで、どんなに頑張れるか分かりません。ありがとうございました。中村さん、これからも頑張ってください。お疲れさまでした。ありがとうございました。
- ❖心温まるお話を聞かせていただきました。皆さんがすべてこんな状況ではないと思いますが、ホッとするものや、胸が熱くなるものを感じました。
- ❖若年性認知症と高齢者認知症の線引きはなんなのか。また、「さろ～んパス」参加者にその区分はあるのか。ゲストお二人のお話に感動しました。
- ❖家族の付き合い方の手本みたいな話で、病気を

を感じさせない話が聞けました。

- ❖三角さんの話が具体的でありがたかったです。
- ❖接し方を教えて欲しいです。
- ❖講師の取り組みや支援の内容を聞き、当事者夫婦の介護の話を聞くことができよかった。現在介護の仕事をしていますが、これからのケアに役立てたいと思いました。
- ❖家族・本人・支援者を含めて、当事者たちの居場所があるということが、どれほど自分たちを取り戻すことができ、元気で次への一歩に踏み出せるかということがわかる具体的なお話でした。感謝です。ぜひ、あちこち（直方でも）で「さろ～んパス」のような形の居場所ができて、当事者たちが住みやすい地域になるといいですね。

\* ちょっと一息 \*



～作ってみませんか～  
カルシウムたっぷりの佃煮

- 【材料】
- |              |      |
|--------------|------|
| いりこ（かえり）小さめ  | 100g |
| 花かつお         | 50g  |
| 塩こんぶ（きざみこんぶ） | 50g  |
| ごま           | 50g  |
- 【調味料】
- |    |      |
|----|------|
| 酢  | 50cc |
| 醤油 | 50cc |
| 砂糖 | 100g |

- 【作り方】
- 1 調味料を合わせた中へいりこを入れて混ぜる。
  - 2 ごまと塩こんぶを入れて、最後に花かつおを入れて混ぜる。

## ●行事のお知らせ

### 令和3年度 地域福祉セミナー③ 福祉入門教室 若年性認知症当事者と家族のつどい

と き：令和4年 1月29日（土） 13時～15時  
ところ：直方市中央公民館 第一学習室（直方市津田町7-20）  
内 容：若年性認知症当事者と家族それぞれの交流会  
対象者：若年性認知症当事者と家族及び支援者など  
ファシリテーター：中村 益子さん

- ・福岡県認知症介護指導者
- ・若年性認知症本人や家族のサロン「さろ～んパス」開催者
- ・令和3年度第2回地域福祉セミナー講師

参加費：無 料

主 催：社会福祉法人 直方市社会福祉協議会

共 催：認知症の人と家族の会直方・飯塚市社会福祉協議会

電 話：0949-23-2551 FAX：0949-23-2552

E-Mail：nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp

※申込みは、社会福祉協議会に、電話・F a x ・メールなどにてお申し込みください。

注：コロナ禍の状況により、中止になる場合があります。



### 令和3年度 飯塚記念病院 福岡県認知症医療センター 第3回一般市民&専門職向け研修会「認知症予防について考える」

と き：2月19日（土）14：00～15：30（受付13：00）

ところ：のがみプレジデントホテル 4階 王朝・大和の間

対象者：一般市民の方、専門職の方

対面（100名）とZOOMによるオンライン形式（500名）でのハイブリット形式

内 容：基調講演と質疑応答・意見交換会

演題：「WHOガイドラインから認知症のリスク低減を検討する」

講 師：九州大学大学院 医学研究院精神病態医学 小原 知之先生

座 長：飯塚記念病院 院長 豊永 武一郎先生

参加費：無料（事前申込制）

主 催：飯塚記念病院 福岡県認知症医療センター

【お問い合わせ】

福岡県認知症医療センター

飯塚記念病院 精神保健福祉士 江頭（えがしら）

電話：0948-22-2316 FAX：0948-28-8109





## ●感想文

### 若年性認知症介護者の会「ローズマリー」を訪問して

令和3年7月13日に筑後市にある若年性認知症介護者の会「ローズマリー」に見学に行きました。ローズマリーの会は家族が主催し、当事者や家族は当事者や家族、支援者など、だれでも参加してよい場です。

テーマはいろいろで、情報提供や日頃の様子まで様々な内容で、皆さん笑顔で傾聴してとても和やかな場でした。

「主治医やケアマネはどうやって選んだ？」との会話もあり、ドキッとしながらお話を聴かせて頂きました。

その中で当事者の女性が「私、認知症になったことがあるんです。だけど治りました。」と笑顔で何度も発表している横で、介護者のご主人が温かく見守っている姿が印象的でした。きっとそのように介護ができるまで、ご苦労があったと思います。周りの方も微笑ましく見守っていました。

カフェの在り方はいろいろありますが、家族主催であることで、決められた枠組みではなく、皆さんが知り合いに会いに行くように気軽に通える場所で、自由に話せる雰囲気をも自分たちで作っていると感じました。直方にも若年性認知症の集いの場ができればよいなと思います。



世話人 松瀬 万由美

### 令和3年度「身体拘束ゼロ施設見学会」に参加して

介護老人保健施設 青風苑において



日々医療の現場で認知症の方の看護をさせていただいていますが、介護の現場での「抑制ゼロ」の取り組みは大変刺激になりました。医療の現場では点滴・生命維持や治療上必要なラインの自己抜去・転倒転落防止という名目で「身体拘束ゼロ」とはほど遠いのが現状です。

しかし、それぞれの「患者さんを守るための正義」の意識からの判断であることも現実です。見学会での資料の中にあった、「拘束は出来る条件を考える前に、しなくて良い方法を考えるのが先」本当にその通りだと思います。

青風苑での「皮下出血なども検証し対策を考える」「事故発生時は写真を撮り検証し、報告書を全員がみる・予防する・対策、原因を共有する」など、事故対策に真剣に全スタッフが同じ意識で取り組んでいる姿勢にプロ意識を感じました。

人間は「動く動物」であるからには抑制をしないことで発生する事故もあるとは思いますが、しかし、青風苑の師長さんが話されていたように、「身体拘束することで身体のケガは予防できても、心の傷は残る」を考えながら、ご家族が納得できる対応を心がけ、認知症の方が穏やかに、安心して入院生活を送れるようにお手伝いさせていただこうと思いました。今回このような貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

会員 高田 あゆみ





## 認知症相談

(直方市社会福祉協議会から委託されています)

と き：毎月 第4水曜日(祝日のときは第3水曜日) 13:00~16:00

ところ：直方市社会福祉協議会 直方市津田町7番35号(直方郵便局前)

\*電話でも、面談でも相談をお受けしています。専門職や介護経験者が相談を受けます。  
また、秘密は厳守いたしますので、安心してご相談ください。

電話番号：0949-23-2551



☆ イオン直方&マックスバリュ直方新入店の  
幸せの黄色いレシートキャンペーン ☆

毎月11日に買い物をされた時、黄色いレシートを「認知症の人と家族の会直方」の箱の中に入れてください。箱はレジの近くに置いてあります。金額の1%が当会に還元されますので、ご協力をお願いします。

### 認知症の人と家族が寄り添う居場所づくり

認知症カフェ「さろ〜んのおがた(仮称)」を始めます!

～何でも話せる場 温かい仲間と一緒に過ごせる場をつくりましょう～

認知症の本人と家族が定期的につどい、みんなでおしゃべりをする場。自分がしたいことやできることをすることで役割を持てる場。にこにこ元気になる居場所づくりをしていきたいと思います。  
一緒にお手伝いをしてくださる方も大歓迎です。皆さん、お待ちしております!

○ 日 時 毎月 第1土曜日 13:00~16:00  
初回は、2月5日(土) です。

○ 場 所 直方歳時館 新町1丁目1番18号(新町公園前)

○ 参加費 会員 200円 非会員 300円

※ コロナ禍の状況により、中止になることがあります。



### 家族の会にご入会を!

介護をされているご家族や当事者の方、専門職、ボランティアの方、認知症について学びたいと思っている方など、どなたでも入会できます。(年会費：1000円)



年間、色々な行事などを行っています。また、当事者、介護者どうしでのお話の場もありますので、地域の方や身近な方に、お声をかけください。

※ お尋ねやご入会については、下記の連絡先にお気軽にご連絡ください。

発行 認知症の人と家族の会直方

事務局 〒822-0026 直方市津田町7番35号 直方市社会福祉協議会ボランティアルーム内

連絡先 電話 090-4347-1833